

ひめまる制作教材紹介



1.おこづかいゲーム

【対象者】小学生中・高学年対象

【使用人数】1セット 40人程度まで

【所要時間】2時間程度・

【実施時期】学校の授業(長期休み前や修学旅行前の活用が有効)、児童クラブなど

【目的】上手なお金の使い方を身につけよう。

【教材の内容】

- ・チーム制のサイコロすごろくゲームです。
- ・1か月間のカレンダーをすごろくの目に見立てて、1か月のお金のやりくりを体験します。
- ・サイコロをふって、カードを引き、その指示に従って、チームで話し合っ、入出金をしたり、買うか買わないかの選択をします。
- ・夜店やスーパーで買い物体験をします。
- ・お金の入出金には模擬のお金使用し、買い物などをして、おこづかい帳をつけます。

おこづかいゲーム

NPO法人えひめ消費者ネット 啓発グループ「ひめまる」



8月の予定 ★のところでは、かならず「ストップ」してください。両替をしましょう。

月	火	水	木	金	土	日
				スタート! 1 おこづかい 入金:1,500円	1 おこづかい 入金:1,500円	2
3 ラッキー	4	5 出金	6	7	8 ★ストップ 土曜夜市	9
10	11 出金	12	13	14 ★ストップ ラッキー 入金:500円	15 ★ストップ 夏祭り	16 夏祭り
17	18 ラッキー	19 出金	20	21 ★ストップ	22	23 出金
24 ★ストップ マンガの 発売日	25	26 ラッキー	27	28 ★ストップ	29	30
31 ★ストップ 友達 のたん生日	ゴール!					

◆おこづかいゲームのルール◆



さあ、スタート! 各班に「銀行員」1名必要

手順1

ゲームを始める前に、毎月のおこづかい1,500円(全員)をもらいます。おさいふにお金を入れよう。



ひめまるちゃん



手順2

おこづかい帳の1行目に8月1日と記入し、7月の残金300円(入金)、2行目に8月1日、8月のおこづかい1,500円(入金)を記入する。



手順3 班代表の児童がサイコロをふる出た目のところに全員が進む。

・1~31日までのそれぞれの日について、4種類のカードを用意。

黄色カード…ラッキーデー(入金)、水色カード…出金デー
白色カード…選択デー、むらさき色カード…土曜夜市、夏まつり



・サイコロが止まったところの色カードの指示にしたがって入出金をします。「ラッキーデー」や「出金デー」以外のところでは、選択カード(白色)を使用します。白色のカードの場合は、児童はお金を使う使わないは自由選択になります。黄色と水色のカードの場合は、それぞれのカードの指示に従ってください。「出金」「貯金」等は各班の「銀行員」さんにお金をわたしましょう。



・むらさき色のカードは、お祭りカードです。班代表の児童1名が「お店屋さん」に買い物に行き、買い物をして帰ります。同じ班の児童は、代表児童が買った商品を自分も買ったこととして、出金しましょう。



手順4 サイコロの目に関係なく、「ストップ!」のところでは、必ず全員が止まらなければなりません。各班にいる「銀行員」さんに両替(お金をごうかんずること)をしてもらいましょう。



手順5

サイコロをふって、お金の出し入れがあるごとに、「おこづか帳」に記入しましょう。



ゴール!

手順6

8月31日まで達するまで、サイコロをふってゲームを行う。最後に、1か月間のおこづかいの集計をして、おこづかいの使い方について振り返り、上手なお金の使い方について、みんなで話し合ってみましょう。



2.中学生消費者教育副読本「消費者ってなあに？」

【対象者】中学生 2～3 年生

【使用人数】1 クラス(35～40 名)

【所要時間】1～2 時限(学校の授業時限)

【目的】技術・家庭科授業の効果向上のため

【教材の内容】

- ・学校教科書に沿った副読本です。
- ・授業を進める過程で副読本の事例・専門的説明を行います。
- ・〇×クイズ・ロールプレイの副教材を活用した授業が出来ます。

かしこい消費者を
目指して頑張ろう!



消費者教育 副読本

みんなの生活手帳 中学生編

消費者ってなあに?

契約って
なあに?



ネット社会の
マナー・
トラブルって?



食生活の
安全について

環境と自然に
ついて学ぼう



お金の使い方
について勉強しよう

安全・安心な
生活について



中学校 年 組 番

名 前

目 次

はじめに 消費者市民社会とは・・

目 次	P1
1.消費者ってなあに?	P2～3
2.「契約」ってなあに?	P4～5
3.悪質商法事例について	P6～7
4.お金の使い方について	P8～11
5.ケータイ・ネットトラブル事例	P12～13
6.ネット社会のモラルとマナー	P14～15
7.食生活の安全	P16～17
8.安心・安全な生活(製品事故)	P18～19
9.環境と資源	P20～21
10.クーリング・オフの方法	P22

NPO法人 えひめ消費者ネット 啓発グループ ひめまる

相談は消費者ホットライン

いやや
「188」へ

3. 家計管理ゲーム

【対象者】障がい者

【使用人数】20～30名

【所要時間】概ね2時間

【目的】障がい者の家計管理(お金の仕分け方やお買いもの等)

【教材の内容】

- ・チーム制のサイコロすごろくゲームです。
- ・障がい者年金、給料を封筒に仕分けします。
- ・サイコロを振って出た目により、お買いものや貯金等をします。
- ・入・出金については、家計簿に記入し家計簿の体験をします。

家計管理ゲーム

NPO法人えひめ消費者ネット 啓発グループ「ひめまる」

【注意点】

★のところでは、かならず「ストップ」してください。

10月の予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15 ★ストップ	16
				スタート!	障がい年金 (16万円)	
17 出金 (食費4千円) (日用品 500円)	18 出金 (ガス4千円)	19	20 出金 (家賃・水道 3万円)	21	22	23
24 出金 (食費4千円) (日用品 500円)	25 ★ストップ 給料日 (2万円)	26 出金 (携帯電話 代)	27 出金 (電気2千円)	28	29 ★ストップ 友人と買い物	30
31 出金 (食費4千円) (日用品 500円)	⇒ 11月に続く					

◆家計管理ゲーム◆～お金の分け方～

●10月15日 支給された障がい年金を分けましょう。

手順1

まず、障がい年金13万円を、「10月15日～11月14日分生活費」、「11月15日～12月14日分生活費」の封筒にそれぞれ6万5千円ずつ入れてください。



手順2

生活費6万5千円から、あらかじめ毎月引落とされる必要経費(家賃・水道代、携帯電話、ガス代、電気代)を封筒に入れましょう。



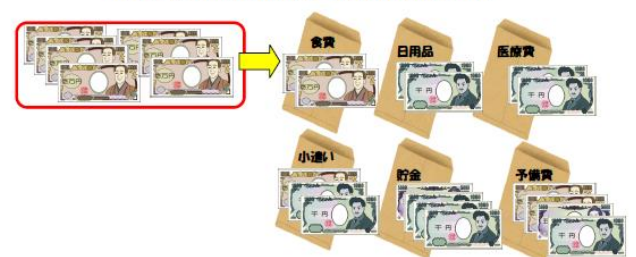
手順3

残った生活費を食費(1万円)、日用品費(千円)、小遣い(8千円)、貯金(2千円)、予備費(4千円)に分けましょう。小遣いは自由に使って構いません。



●10月25日 もらった給料を分けましょう。

給料7万円を、食費(2万円)、日用品費(2千円)、医療費(2千円)、小遣い(1万2千円)、貯金(8千円)に分け、それぞれの封筒に入れましょう。残りのお金(2万6千円)は予備費の封筒に入れましょう。



●10月14日 お金の整理をしましょう。

残ったお金をまとめて、「予備費」として封筒に入れて保管しましょう。



これであなたも、「やりくり上手」に!